

シルバー・フラッグへの参加について

8月7日（月）から8月11日（金）までの間、航空自衛隊は、グアムにある米空軍アンダーセン基地において、施設部隊による飛行場の被害復旧等に関する訓練（シルバー・フラッグ）に参加しました。本訓練は、米空軍が主催し、オーストラリア空軍、カナダ空軍、インドネシア空軍、フィリピン空軍、韓国空軍、シンガポール空軍、スリランカ空軍、イギリス空軍が参加しました。航空自衛隊は、米空軍その他参加国の空軍と共同訓練を実施し、重機や被害復旧のための装備品等の運用を通じて部隊の戦術技量及び米空軍との相互運用性の向上並びに参加国との相互理解を深化させました。

航空自衛隊は、「自由で開かれたインド太平洋（FOIP）」の実現のため、施設職域においても引き続き連携を強化していきます。

